



ブドウ(露地)の病害防除対策について

(べと病、褐斑病、晩腐病、灰色かび病など)

曇りや雨の日が多くなるとブドウのべと病、褐斑病、晩腐病、灰色かび病など各種病害の発生に適した条件となります。**気象庁の1か月予報(5月15日発表)によると、「天気は数日の周期で変わりますが、前半は平年に比べ曇りや雨の日が多く、後半は平年と同様に曇りや雨の日が多い」と予想され、発生をやや助長する気象条件と考えられます。**

園内の観察を注意深く行い、参考防除例に基づく防除を励行するとともに、発生を確認したら必要に応じて追加防除を実施してください。

(写真出典：茨城県病害虫防除所)



べと病



褐斑病



晩腐病

防除のポイント

耕種的防除:

雨よけ栽培:

べと病、晩腐病、灰色かび病を抑制

傘かけ、袋掛け:

晩腐病に高い防除効果

発病葉や果房等の処分:

園内に放置せず、土中に埋設

園内の管理:

誘引等で風通しや明るさを確保

化学的防除: 薬剤散布は参考防除例等を参考に行う。

散布間隔:

袋掛け前までの散布間隔は10日以上空けない。散布予定日が降雨の場合は降雨前に散布。散布後に降雨が続く場合、散布間隔を短くする

散布量:

10aあたり250ℓを目安に散布
薬剤のかかりにくいほ場の周辺部は手散布で補正散布を行う

幼果期以降の散布: 果粉溶脱や果実の汚れの恐れがあるので、ラベルの使用上の注意をよく確認する

表1 ブドウのべと病、褐斑病、晩腐病、灰色かび病、うどんこ病の主な防除薬剤

(令和7年5月19日現在)

対象病害					薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
べと病	褐斑病	晩腐病	灰色かび病	うどんこ病				
○					I Cボルドー48Q	25~50倍	— / —	M01
	○	○	○	○	オンリーワンフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	3
○					レーバスフロアブル	2,000~3,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	40
			○		パスワード顆粒水和剤	1,000~1,500倍	収穫14日前まで / 2回以内	17
○					ランマンフロアブル	1,000~2,000倍	収穫14日前まで / 3回以内	21
○					ホライズンドライフロアブル	2,500~5,000倍	収穫21日前まで / 3回以内	11と27
	○	○				2,500倍		
○					アリエッティC水和剤	400~800倍	収穫30日前まで / 3回以内	P07とM04
			○			800倍		
		○				400~600倍		
○	○	○	○		オーソサイド水和剤80	800倍	収穫30日前まで / 3回以内	M04
		○	○		スイッチ顆粒水和剤	2,000~3,000倍	収穫30日前まで / 2回以内	9と12
			○	○	フルピカフロアブル	2,000~3,000倍	収穫30日前まで / 2回以内	9
○					ベトファイター顆粒水和剤	2,000~3,000倍	収穫30日前まで / 3回以内	27と40
			○		ゲッター水和剤	1,000~1,500倍	収穫45日前まで / 1回	1と10
○	○	○			ペンコゼブ水和剤	1,000倍	収穫45日前まで / 2回以内	M03
					ジマンダイセン水和剤			
○					リドミルゴールドMZ	1,000倍	収穫45日前まで / 2回以内	4とM03

注) 分類欄には、FRACコードを記載しました(コードが2つは混合剤)。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用してください。
- 営農 News は J A 全農いばらき ホームページ でも ご覧 にな れ ま す。